トステム株式会社

カーブテラスⅡ　A型・B型取付け説明書

MAF-678D　7-960734.⑤.ⓜ

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件
●母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
●本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取り付けないでください。
●それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域用600形→積雪20cm以下
特殊地域用1500形→積雪50cm以下
●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
●他社商品（バルコニー等）と組み合せて設置しないでください。
●風の強い場所では補強ブレスで製品の補強をしてください。
●崖っぷちなどの高低差のある場所には設置しないでください。
●風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。

■躯体への固定
●躯体に取付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。
●プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
●タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定
組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■施工時の足場について
施工時はしっかりと足場を設け転落などの危険がないよう注意してください。

■基礎について
●基礎は当社指定寸法以上にしてください。
基礎には海砂及び急結材を使わないでください。柱が腐食するおそれがあります。
●地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにご注意ください。
●寒冷地で凍上のおそれのある地域に取付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●柱には水抜き穴をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重たいものをのせたり振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について
アルミ形材が亜鉛ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■パネルについて
屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■施工上について
●母屋の構造材が入っている場所へ取付けてください。
●みだりに改造・変更をしないでください。
●水平垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シーリング指定個所には、必ずシーリング材を充てんしてください。

お施主様へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠警告…取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警　告

屋根には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。

⚠ 注　意

●屋根の上に物をのせないでください。製品が破損し物が落下するおそれがあります。
●下記の積雪量を超える前に雪おろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
雪の重さは、雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重たく、降雨や湿雪の後などは新雪にくらべ3倍位の重さになります。
※積雪量1cmあたり3kg/m2（比重0.3）で算出しています。
（雪おろしの際、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。）
一般地域用600形→積雪20cm以下
特殊地域用1500形→積雪50cm以下

お願い

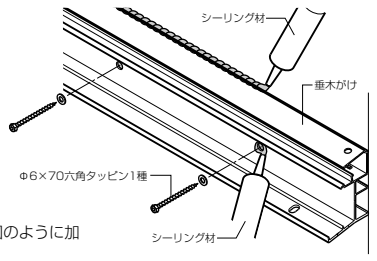
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●ボルト・ナット・ねじ等は絶対にゆるめないでください。
●雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷つく原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。

■取付け順序

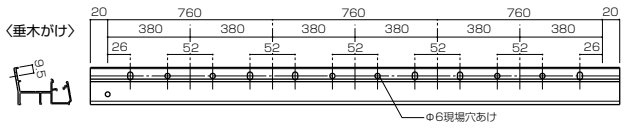
1 垂木がけの取付け

①垂木がけを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

※垂木がけは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
※躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と十分打ち合わせをし、必要に応じて補修してから取り付けてください。



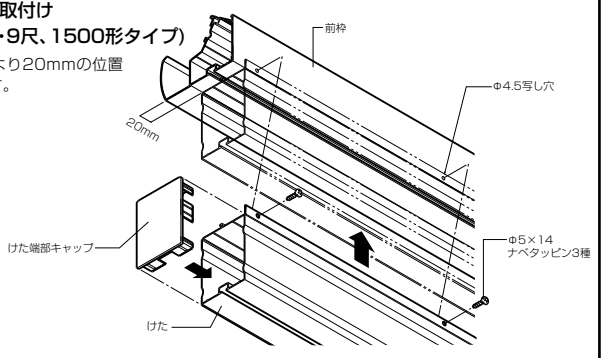
※9尺1500形タイプの場合、垂木がけを下図のように加工してください。



【関西間・九州四国間の場合】
関西間・九州四国間の場合、垂木がけに躯体取付け用の穴はあいていません。
柱及び間柱位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。

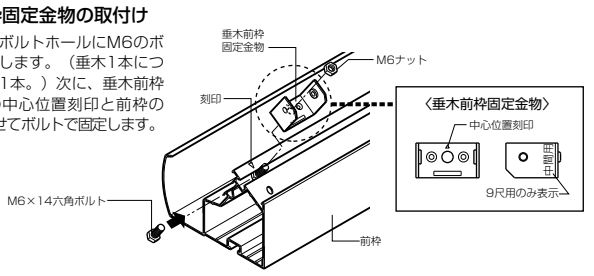
2 前枠とけたの取付け（2.5間、7・8・9尺、1500形タイプ）

①けたを前枠端部より20mmの位置にねじ止めします。

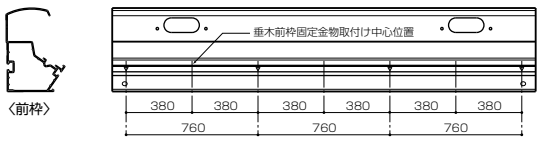


3 垂木前枠固定金物の取付け

①前枠の上部ボルトホールにM6のボルトを挿入します。（垂木1本につき、ボルト1本。）次に、垂木前枠固定金物の中心位置刻印と前枠の刻印を合わせてボルトで固定します。

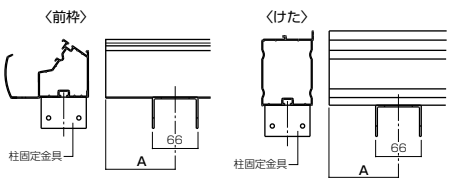


※9尺1500形タイプの場合は、刻印の中心に各1個、垂木前枠固定金物を取り付けます。
※7尺,8尺,9尺タイプの垂木前枠固定金物は、「中間用」の刻印のあるものを中間に、表示のないものを端部に使用してください。



4 柱ー前枠(けた)の取付け

①前枠(けた)の下部ボルトホールにM8ボルトを挿入し、柱固定金具をA寸法に合わせて固定します。
②柱固定金物に柱をねじ止めします。



■A寸法表

		関東間	関西間	九州・四国間
1間	前枠	235	225	277.5
	けた	215	205	257.5
1.5間	前枠	162.5	157.5	210
	けた	142.5	137.5	190
2間	前枠	95	90	142.5
	けた	75	70	122.5
2.5間	けた	357.5	342.5	447.5

※連棟の時は上記寸法の2倍の数値になります。

5 端部垂木の取付け

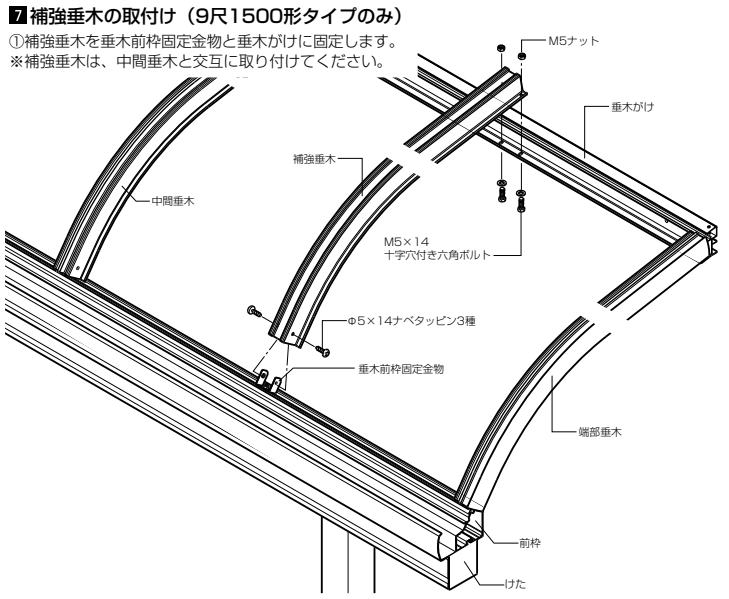
①端部垂木を垂木前枠固定金物と垂木がけに固定します。

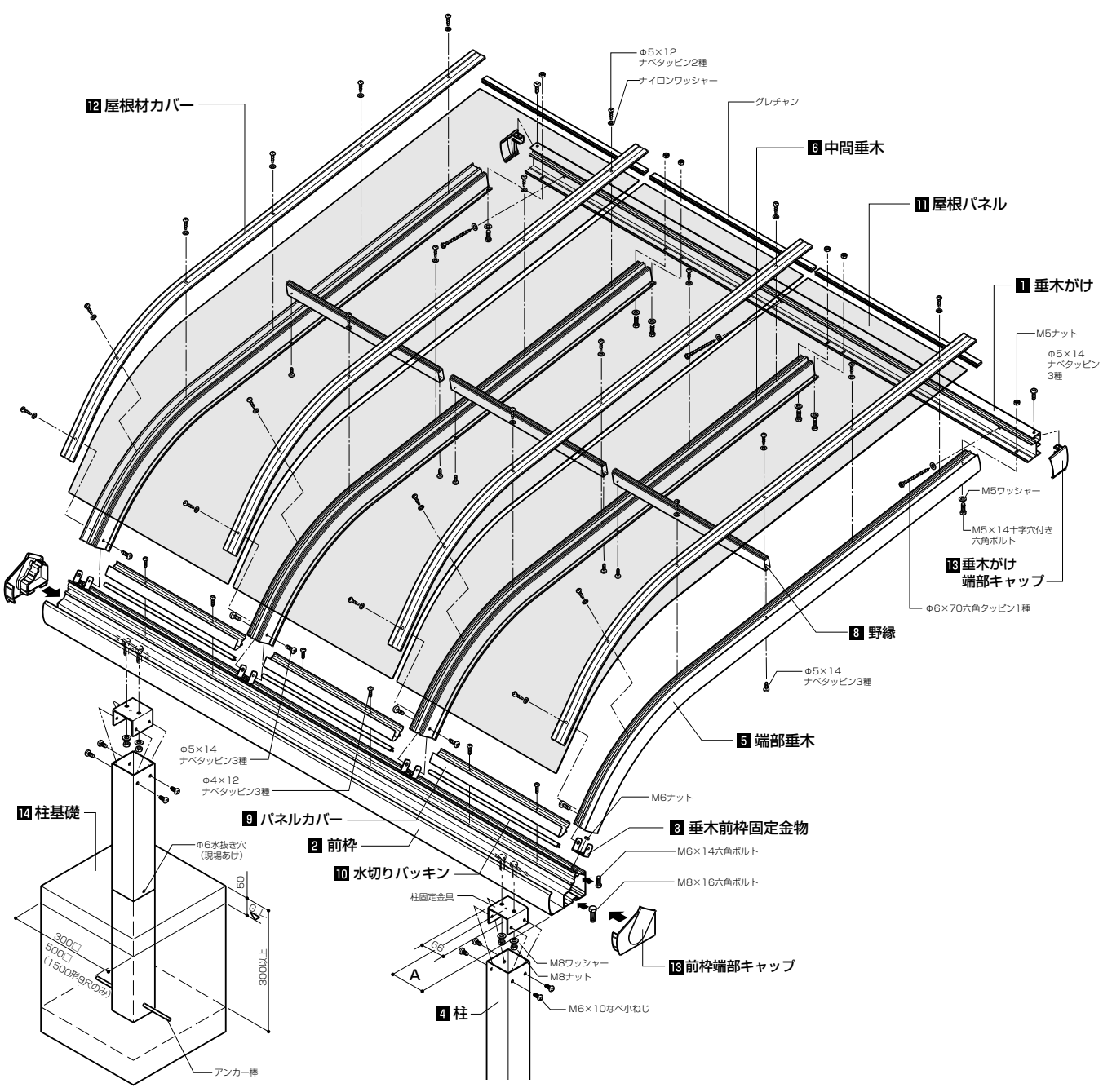
6 中間垂木の取付け

①中間垂木を垂木前枠固定金物と垂木がけに固定します。
※屋根タイプ(下止仕様)の場合は、1スパンのみ、下止め垂木を取り付けます。
（詳細は下止め仕様取付け説明書をご覧ください。）

7 補強垂木の取付け（9尺1500形タイプのみ）

①補強垂木を垂木前枠固定金物と垂木がけに固定します。
※補強垂木は、中間垂木と交互に取り付けてください。

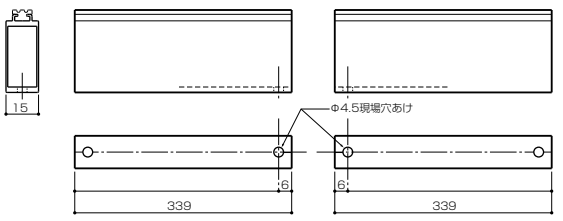




8 野縁の取付け

①真中のスパンから順にねじ止めします。

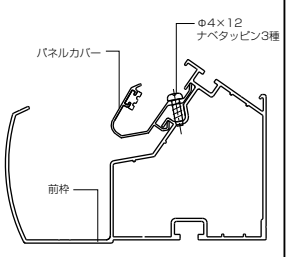
※9尺1500形タイプの場合
●野縁を下図のように現場加工してください。



※屋根タイプ(下止仕様)の場合は、下止めスパン両どなりのスパンの野縁は取り付けないでください。

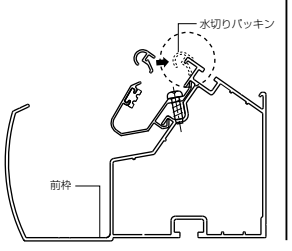
9 パネルカバーの取付け

①パネルカバーを右図の位置にねじ止めします。
※必ず嵌合していることを確認してください。
※下止めスパンは取り付けないでください。



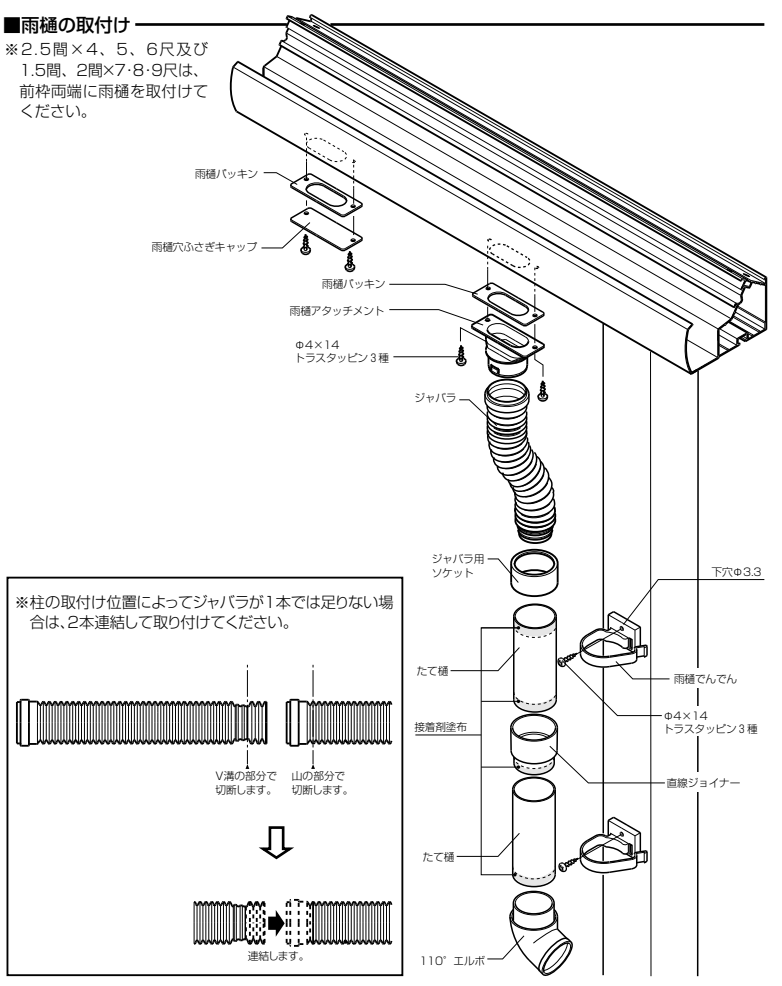
10 水切りパッキンの取付け

①水切りパッキンを垂木の内々に図のようにはめ込みます。
※必ず嵌合していることを確認してください。
※下止めスパンは取り付けないでください。



■雨樋の取付け

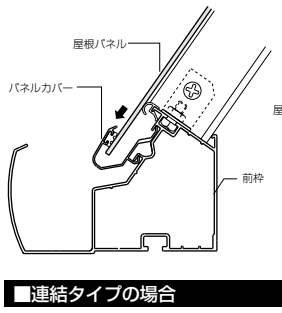
※2.5間×4、5、6尺及び1.5間、2間×7・8・9尺は、前枠両端に雨樋を取付けてください。

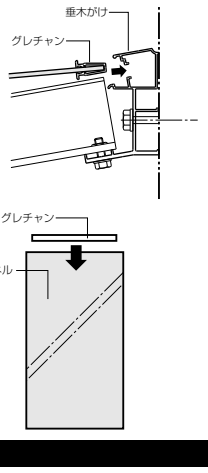


※柱の取付け位置によってジャバラが1本では足りない場合は、2本連結して取り付けてください。

11 屋根パネルの取付け

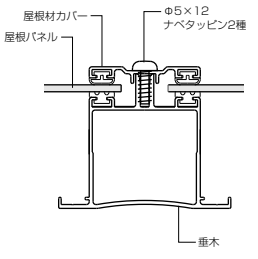
①屋根パネルにグレチャンを取り付け、図のように垂木がけとパネルカバーに取り付けます。





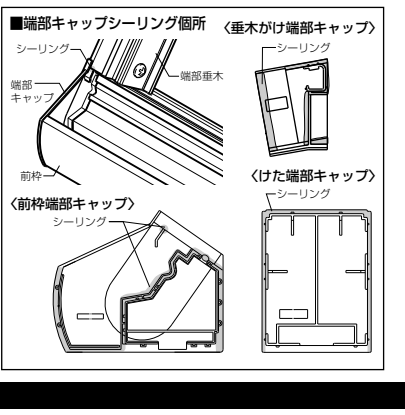
12 屋根材カバーの取付け

①垂木との位置を確認してねじ止めします。

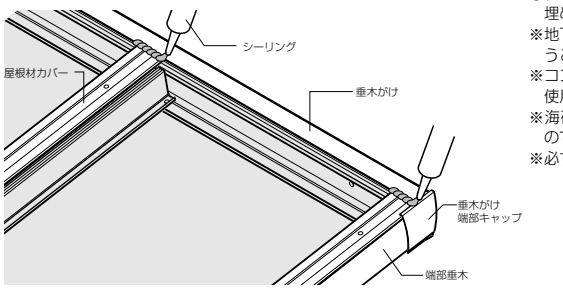


13 キャップの取付けとシーリング処理

①前枠端部キャップ・桁端部キャップ及び垂木がけ端部キャップに十分シーリングした後、取り付けます。



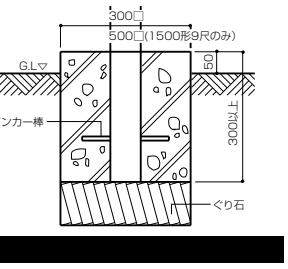
②下図の個所をもれなくシーリングしてください。



※シリコン系シーリング材を使用した場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシーリング材又はプライマーを使用してください。
〔東芝＃380・＃381・東レSE555〕

14 柱基礎

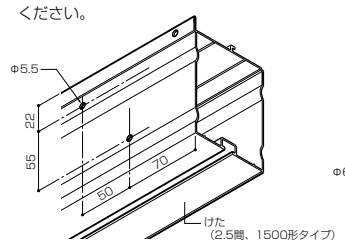
①柱埋め込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
※地下埋設物(給水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
※コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。
※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
※必ず水抜き穴をあけてください。



■連結タイプの場合

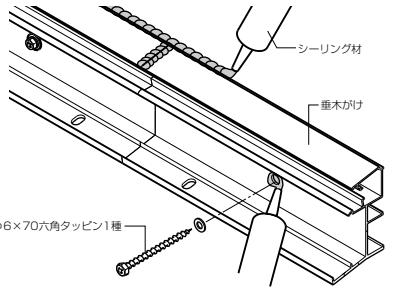
1 前枠・垂木がけ・けたの加工

①前枠・垂木がけの連結側を20mm切り詰めます。
②前枠の連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。
③けたの連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。(片面のみ)
※反対側のポンチ位置には穴をあけないでください。



2 垂木がけの取付け

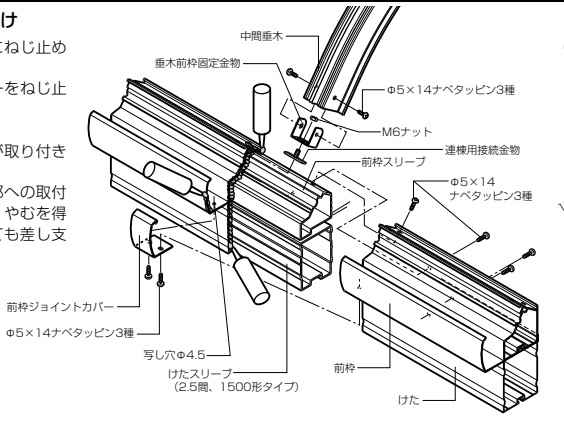
①垂木がけの躯体取付け穴(φ6.5)を、柱や間柱など躯体の構造体位置に合わせてあけ直した後、取り付けてください。
②連結部は必ずシーリングで処理してください。



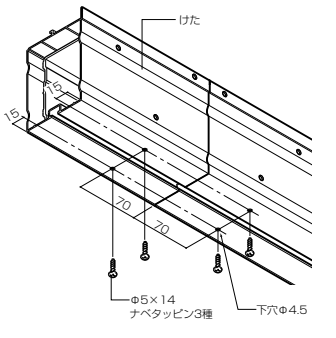
3 屋根パネルの取付け

①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
②前枠ジョイントカバーをねじ止めします。

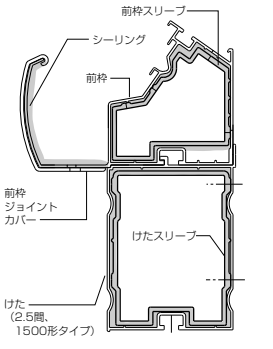
※連結部には垂木と柱が取り付きます。
※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、やむを得ない場合は、移動しても差し支えありません。



③桁の下図の位置に穴あけ加工後、ねじ止めします。(2.5間、1500形タイプ)



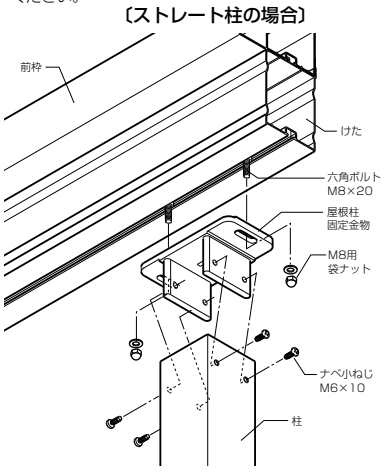
※連結部には必ずシーリングで処理してください。



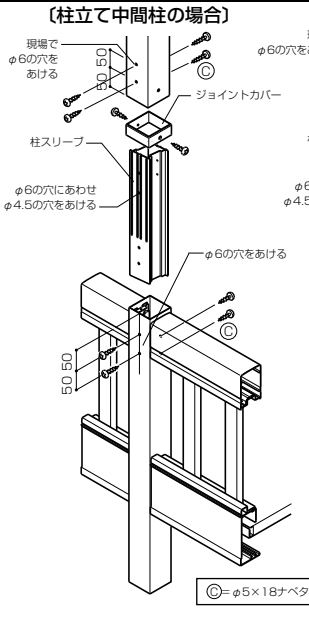
■バルコニー連結の場合

①柱の切詰め加工
●現場実測で寸法を出し、柱を切り詰めてください。
②前枠への取付け
●屋根柱固定金物を使用し、図の要領で取り付けてください。
③バルコニーとの連結図の要領に従い、柱を連結してください。

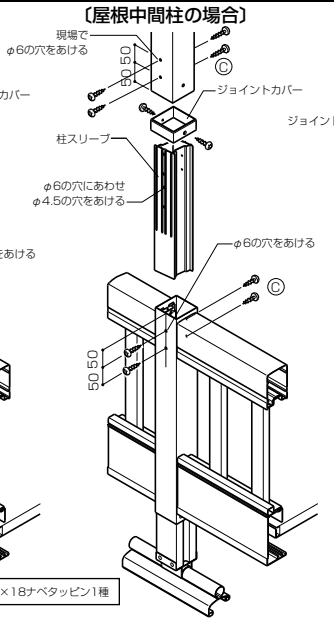
〔ストレート柱の場合〕



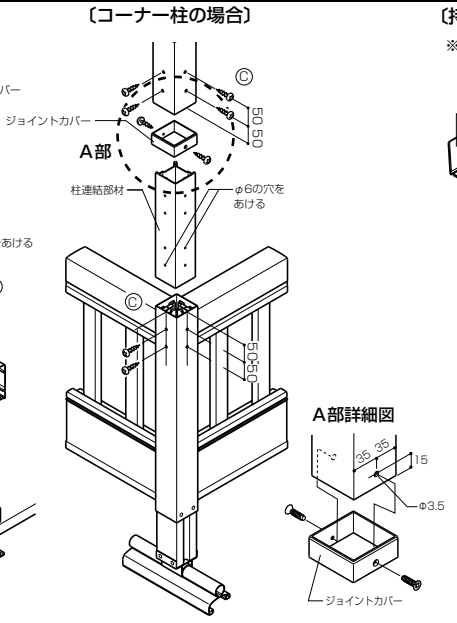
〔柱立て中間柱の場合〕



〔屋根中間柱の場合〕

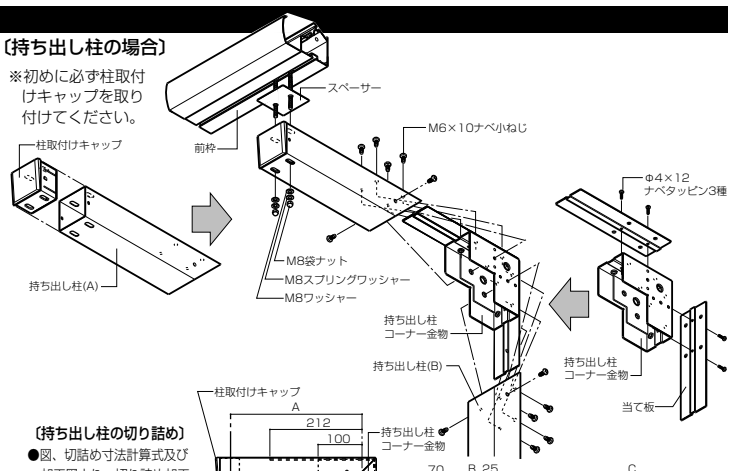


〔コーナー柱の場合〕



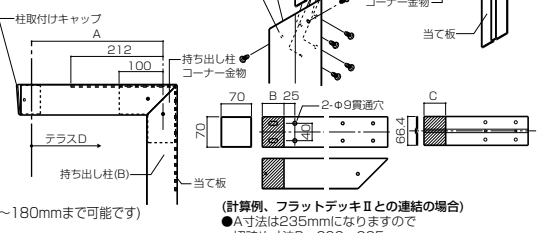
〔持ち出し柱の場合〕

※初めに必ず柱取付けキャップを取り付けてください。



〔持ち出し柱の切り詰め〕
●図、切詰め寸法計算式及び加工図より、切り詰め加工してください。
※切り詰め寸法は180mmまで可能です。

(切り詰め寸法計算式)
B＝300−A(切詰め寸法Bは0〜180mmまで可能です)
C＝232−A
(A寸法が232以上の場合C＝0です)

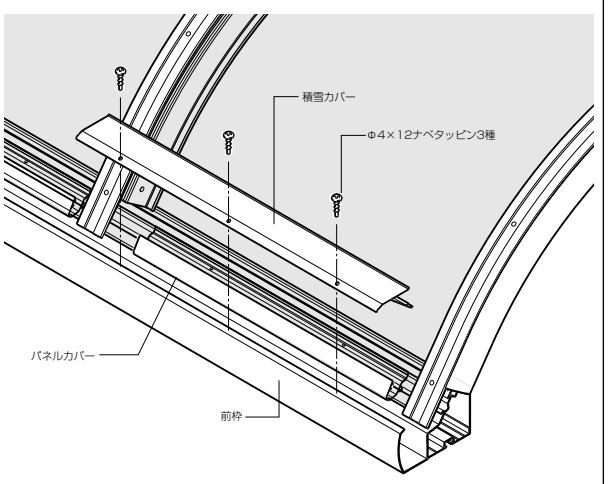


(計算例、フラットデッキⅡとの連結の場合)
●A寸法は235mmになりますので切詰め寸法B＝300−235＝65mmまた、A寸法が232mm以上あるので当て板切詰め寸法C＝0で

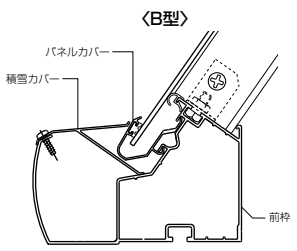
■積雪カバーの取付け(オプション)

1 屋根パネルの取付け

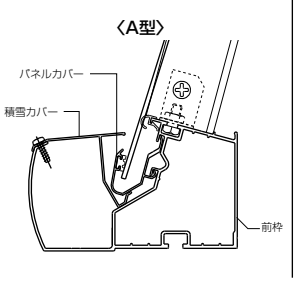
●前枠に下穴φ3.5をあけ、積雪カバーをねじ止めします。



〈B型〉



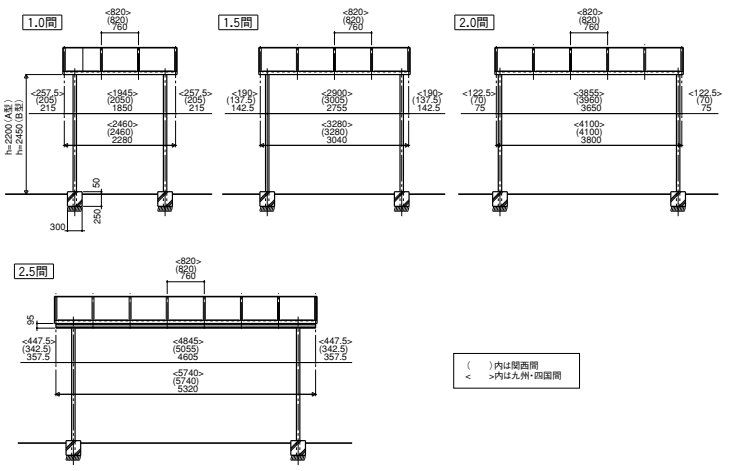
〈A型〉



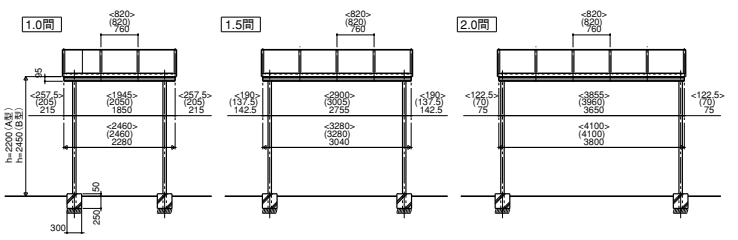
■姿図

●正面図

600形

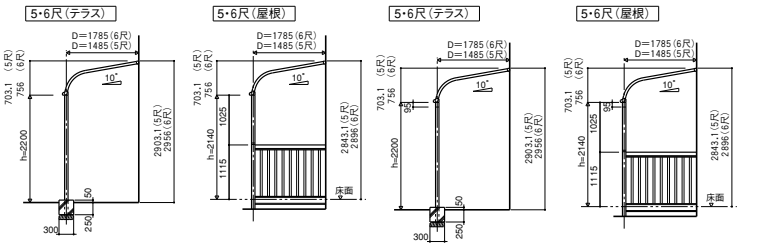


1500形

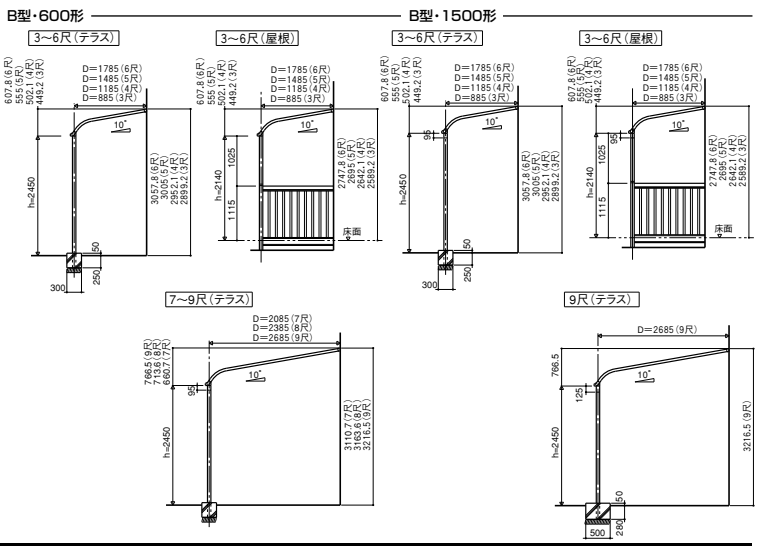


●側面図

A型・600形　A型・1500形

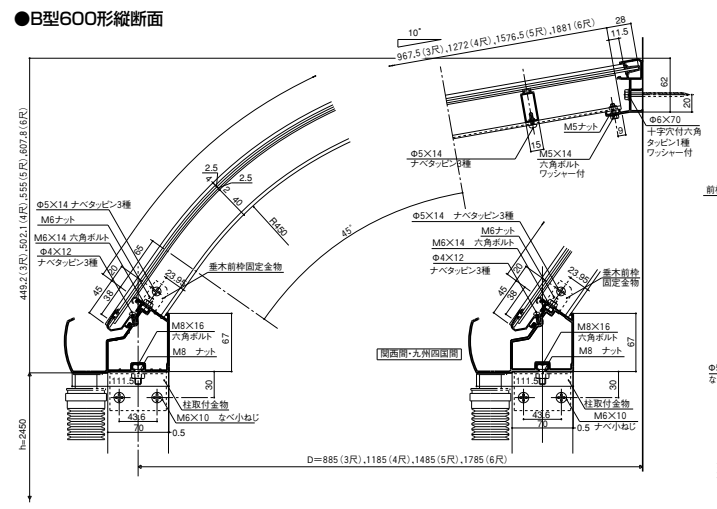


B型・600形　B型・1500形

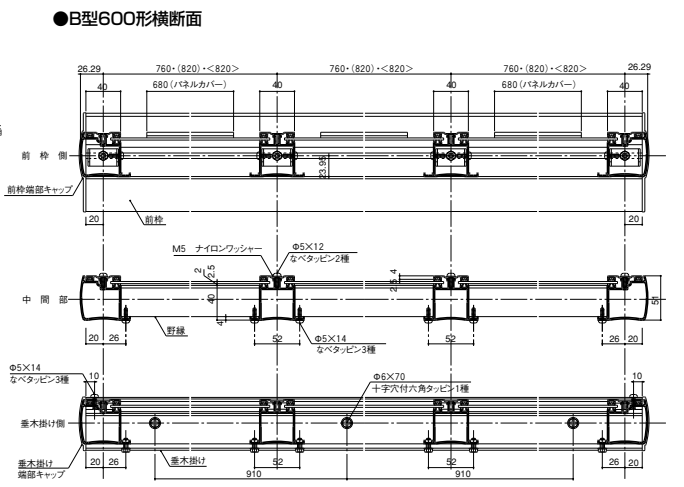
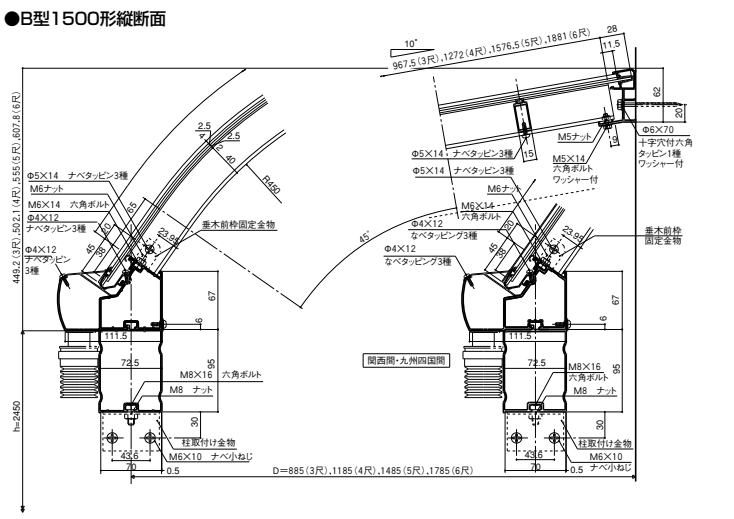


■参考納まり図

●B型600形縦断面



●B型600形横断面



●B型1500形縦断面